

視聴覚教育

メディア論

明学の響きツアー

明学にある記念館、インブリー館、チャペルは、今ではあまり見られない構造の建物です。それらの中に入ると、普段は聞こえない響きを感じるかもしれません。

対象は学院内外を問わない。それぞれの施設でのイベントと絡めたツアーなので、イベントに参加してみたい、中に入りたい人に向けている。



宣教師のインブリーは明学の創設に深く関わり、彼が長く住んだためインブリー館と呼ばれるようになりました。

資料館展示室・小チャペル(記念館)

展示室で、これからまわる建物の基本情報を知る

→ 小チャペルで黙想体験

閉塞的で静かな空間で、これから聴くさまざまな響きを聴く準備運動をする。

まずは自分と向き合ってみよう！
体の中ではどんな音が響いている？

インブリー館

1階と2階を見学する

壁の色、素材、照明の色の違いで、音の印象が変わる。

住居ならではの人が発する声や音の響きに注目してみる

昔はここにインブリー夫妻が住んでいた！
部屋の中の音、外の音はどう聞こえる？

ヴォーリス広場

椅子に座るなど自由に過ごす

広場の名前は、明学のチャペルを設計したウィリアム・メルル・ヴォーリスの名前から。

明学の今と昔を感じる広場で、学生の声や木々のざわめき、鳥の鳴き声を聴きながら、大空の下でリフレッシュ！

普段聞いているようで聞いてない音が
聞こえてくるかも？

チャペル

ヴォーリス建築は、音響にもこだわりがある。

シザース・トラス構造で柱や天井をなくす

→ 高くて広い空間

祈りの空間と響きのつながりを感じてみる。

最後はチャペルアワーに参加！
音や声はどう響いている？

